

看護の統合と実践

専門分野

授業科目	医療安全	講師	氏名	①山下朝乃 ②西岡加代子	開講年次	単位・時間		
			所属	①病院 医療安全対策室 ②専任教員				
			実務経験	①②臨床看護師				
科目のねらい	医療事故は起こしてはいけないことであるが、日常的に発生する可能性があることを十分に認識することが重要である。人はなぜ医療事故が起こすのか、「ヒトは誰でも間違える」人間の特性を理解する。また、事故防止に向けて組織的に取り組む安全管理の考え方を学び、医療事故を防ぐための具体的方法について学ぶ。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全における基本的知識を説明できる。 2. 医療現場における危険の予知と回避、事故防止の安全対策の方法を説明できる。 3. 安全確保の方法について説明できる。 4. 組織（国・医療法・看護職能団体）で取り組む安全管理体制を説明できる。 5. 医療安全における看護師の責務と役割を説明できる。 							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理への心構えと対応について考えることができる。 2. 医療安全の課題を考えることができる。 							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故の発生要因を分析し、防止対策についてグループワークで発言することができる。 2. 近年の医療安全の動向についてをニュース・SNSや文献で調べることができる。 							
科目評価	定期試験（筆記）70% ワーク・レポート 30% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全（メディカ出版）							
参考文献	パワーアップ問題演習 基礎看護学（サイオ出版） 系統別看護学講座 医療安全（医学書院） 医療安全ワークブック（医学書院）							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	医療安全を学ぶ意義 1) 医療安全を学ぶ重要性 2) 医療安全の取り組み	○			山下朝乃	各専門看護学 論理学Ⅰ（論理的思考） 倫理学 心理学 医療現場のコミュニケーション	事前課題 ①基礎看護学実習Ⅰを想起し、医療施設で起こりうる医療事故についてのレポート ②医療施設での医療事故に関する時事問題をレポート （提出日時については掲示）	
2	医療安全の基本概念 1) 医療事故の定義 2) 看護師及び看護業務の法的な規定	○					事後学習 講義資料をもとに学習内容を復習する。	
3	医療安全施策と医療の質の評価 1) 医療事故と事故防止の考え方 2) 組織的な安全管理体制への取り組みと医療安全対策	○						
4	事故発生のメカニズムと防止対策 1) 事故の構造・事故防止の考え方 2) 人間の行動（人間の特性） 3) ヒューマンエラーのメカニズム 4) 事故分析 5) 事故後の対応	○						
5	安全確保と倫理 1) 身体拘束とは 2) 身体拘束となる具体的な行為	○	○					アートルームで演習 体操服準備 1年次に履修したを事前に復習しておくこと。
6	看護における安全対策 1) 「療養上の世話」の事故防止 2) 「診療の補助」の事故防止 3) その他（業務領域をこえて共通する事故防止） 口頭指示・患者誤認・コミュニケーションエラー	○					西岡加代子	
7	看護学生の実習と安全 1) 実習中の事故防止 2) 事故発生時の学生の対応	○						
8		○	○					
9	事例紹介・討議（グループワーク） 1) KYTトレーニング危険予知トレーニング	○	○					
10								
備考	臨床（病院）での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							